

科目名	ペットビジネス実務		担当講師 (実務経験)	長崎 幸恵 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	2年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	ペットビジネスの中で活用されるディスプレイやポップなどの技法を身に着ける					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法		評価割合(%)			
	定期試験		%			
	小テスト・技術力・作品		60%			
	レポート		%			
	授業態度		20%			
	出席状況		20%			
授業進行	講義テーマ		講義内容			
	1	啓発ポスター制作 1	各専門分野における啓発ポスターを制作する ①			
	2	啓発ポスター制作 2	各専門分野における啓発ポスターを制作する ②			
	3	啓発ポスター制作 3	各専門分野における啓発ポスターを制作する ③			
	4	啓発ポスター制作 4	各専門分野における啓発ポスターを制作する ④			
	5	啓発ポスター制作 5	各専門分野における啓発ポスターを制作する ⑤			
	6	啓発ポスター制作 6	各専門分野における啓発ポスターを制作する ⑥			
	7	イベント企画 1	クリスマスのディスプレイ ①			
	8	イベント企画 2	クリスマスのディスプレイ ②			
	9	イベント企画 3	クリスマスのディスプレイ ③			
	10	イベント企画 4	クリスマスのディスプレイ ④			
	11	イベント企画 5	クリスマスのディスプレイ ⑤			
	12	服飾制作 1	アクセサリ作り ①			
	13	服飾制作 2	アクセサリ作り ②			
	14	パッケージデザイン 1	パッケージデザイン作成			
15	パッケージデザイン 2	パッケージ写真撮影				

科目名	動物繁殖学	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	雄と雌の生殖器の構造を学び発情・妊娠・分娩について理解する繁殖に関わる形態と機能を学び、妊娠・分娩と新生子管理、遺伝学の基礎知識を修得する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	生殖器官 1	雌の生殖器の基本構造・繁殖生理		
	2	生殖器官 2	雄の生殖器の基本構造・繁殖生理		
	3	生殖器官 3	主要な性ホルモンの名称、産生部位		
	4	性周期と交配 1	性成熟と発情徴候・排卵の仕組み		
	5	性周期と交配 2	膣細胞スミア・交配適期の決定法		
	6	妊娠と分娩 1	着床・発生・妊娠・胎子の発育		
	7	妊娠と分娩 2	妊娠期間、偽妊娠		
	8	妊娠と分娩 3	分娩と助産、帝王切開		
	9	妊娠と分娩 4	去勢・不妊手術		
	10	妊娠と分娩 5	動物ごとの違い・生殖器官		
	11	新生子管理 1	新生子のための飼養環境		
	12	新生子管理 2	初乳の意義と哺乳		
	13	新生子管理 3	新生子の発育過程		
	14	遺伝学 1	遺伝のメカニズム		
15	遺伝学 2	さまざまな遺伝様式・遺伝子疾患・発生異常			

科目名	動物行動学Ⅱ(猫学)	担当講師 (実務経験)	藤井 美樹子 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一)後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	猫の起源、特徴や様々な猫種を学ぶ				
テキスト等	猫の教科書				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	授業進度は変更になる場合があります		
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	猫の進化と歴史	人とのかかわり		
	2	グルーミング演習1	猫のシャンプー技術などを学ぶ①		
	3	猫の毛色。パターン1	目の色、特徴①		
	4	猫の毛色。パターン2	目の色、特徴②		
	5	現代の家猫達1	発生型、体型①		
	6	現代の家猫達2	発生型、体型②		
	7	猫の遺伝子1	血液型、繁殖①		
	8	猫の遺伝子2	血液型、繁殖②		
	9	グルーミング演習2	猫のシャンプー技術などを学ぶ②		
	10	猫の健康1	免疫、伝染病①		
	11	猫の健康2	免疫、伝染病②		
	12	猫の特性1	感覚器①		
	13	猫の特性2	感覚器②		
	14	猫種1	世界の猫達、特徴①		
15	猫種2	世界の猫達、特徴②			

科目名	愛玩動物学Ⅱ(動物飼養管理学Ⅱ)	担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 ( ■前期・■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10) 後期(5)	時間(単位)	30(2)
概要	動物の飼養管理に関する基本的事項を再認識しながら、1級でさらに専門的知識を高めると同時に動物愛護や人と動物の共生などの活動を担う知識を深める				
テキスト等	愛玩動物飼養管理士 教本1級 第1巻・第2巻				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	動物愛護論Ⅱ 動物関係法令 1	日本における動物愛護運動の歴史と展望について		
	2	動物関係法令 2	伴侶(愛玩)動物、産業(畜産)動物、野生動物などの動物に人間としてどう対応するか、法律として規定について		
	3	動物の行動と社会	動物の行動と社会(生活の組織)について		
	4	犬と猫の栄養学	栄養学の基礎知識について		
	5	動物の遺伝と繁殖整理	遺伝について		
	6	動物の疾病とその予防 1	総論		
	7	動物の疾病とその予防 2	犬猫の疾病とその予防		
	8	動物の疾病とその予防 3	その他動物の疾病とその予防		
	9	動物の飼養管理と公衆衛生 1	人と動物の共通感染症とその対策		
	10	動物の飼養管理と公衆衛生 2	自然と人間		
	11	試験対策 1	模擬試験 ①		
	12	試験対策 2	模擬試験 ②		
	13	試験対策 3	模擬試験 ③		
	14	試験対策 4	模擬試験 ④		
15	試験対策 5	模擬試験 ⑤			

科目名	手話学		担当講師 (実務経験)	佐藤 尚行 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	2年 ( ■前期 ・ □後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(10) 後期(一)	時間(単位)	20(1)	
概要	<p>聴覚障害者の言語である「手話」の基本を学びます。          外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学びます。</p> <p>1, 聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得・実践できる。          2, 聴覚障害者のコミュニケーション手段の1つである手話という言語を基礎から学び、初歩的な会話ができる。</p>					
テキスト等	さっぼろの手話					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	①聴覚障害の基礎知識 ②伝えあってみましょう	①理論講義「聴覚障害者の基礎知識」について学びます。 ②日常生活の中にあるものを身振りで伝えどのようにしたら伝わるのか身振りや表情の工夫について学習します。			
	2	あいさつや名前の手話を覚えましょう	挨拶・名前を表す方法を学び、聴覚障害者のコミュニケーションの方法がいろいろあることを理解します。			
	3	人物の手話を覚えましょう	家族の紹介をする学習をしながら、人物の表現の基礎となる手話を学びます。			
	4	数の手話を覚えましょう	数の表し方を学習して疑問詞を使って会話練習をします。			
	5	趣味の手話を覚えましょう	趣味に関する手話を学習して、疑問詞を使った会話練習をします。			
	6	職業の手話を覚えましょう	職業に関わる手話を学習して、会話練習をします。			
	7	地名の手話を覚えましょう	住所や地名に関わる手話を学習して、会話練習をします。			
	8	①手話の基礎知識 ②自己紹介のまとめ	①理論講義「手話の基礎知識」について学びます。 ②今まで学んだ手話を活かして手話を正確に表現し意思をスムーズに伝ええるように練習します。			
	9	時に関する手話を覚えましょう	1日や1か月の生活に関する手話を学習して、会話練習をします。			
10	①時に関する手話を覚えましょう ②試験対策	①1年の生活に関する手話を学習して、会話練習をします。 ②今まで学習したことを活かせるように試験問題の対策をします。				

科目名	ビジネスマナー学		担当講師 (実務経験)	設楽 幸子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	社会人へ踏み出すために必要なビジネスマナーの基本と就職活動へ向けての自己理解と履歴書の書き方、面接時の対応を学ぶ					
テキスト等	動物病院スタッフを目指す学生のためのビジネスマナーテキスト					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	社会へ踏み出すということ	「学生と社会人の違い」や「自立する」ということについて考え、社会へ踏み出すとはどういうことかを学ぶ			
	2	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	動物医療に関わるスタッフに求められるビジネスマナーの大切さを知り、社会へ踏み出すためのビジネスマナーの基本を学ぶ			
	3	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	社会へ踏み出すときにみについておきたいビジネスマナーの基本(あいさつ、表情、立ち居振る舞い)について学ぶ			
	4	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	ビジネスマナーの基本(身だしなみ・言葉づかい/敬語)について学ぶ			
	5	社会人として身につけたいビジネスマナーの基本	言葉づかい/敬語の演習問題にチャレンジ			
	6	電話対応の基本	電話の受け方、かけ方を学ぶ			
	7	電話対応の基本	電話の受け方、かけ方の演習問題にチャレンジ			
	8	クレーム対応	受付及び電話におけるクレーム対応の基本を学ぶ			
	9	クレーム対応	受付及び電話におけるクレーム対応の演習問題にチャレンジ			
	10	社会人としてのコミュニケーション	良好な人間関係を築くための、話の聞き方・話し方・伝え方の基本を学ぶ			
	11	社会人としてのコミュニケーション	話の聞き方・話し方・伝え方の演習問題にチャレンジ			
	12	就職活動へ向けてのキャリアデザイン	就職活動のためのキャリアデザインとは何か、希望の道へ進むための準備(自己理解)は何かを学ぶ			
	13	就職活動へ向けてのキャリアデザイン	魅せる履歴書の書き方のポイントを学ぶ			
	14	就職活動へ向けてのキャリアデザイン	就職活動を成功させる面接攻略法を学ぶ			
15	全体授業のまとめ	振り返り				

科目名	動物看護学概論	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	1年 ( ■前期 ・ □後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(—)	時間(単位)	30(2)
概要	獣医療の歴史や愛玩動物看護師の職業倫理について学び、専門職としての社会的責務を理解し職業意識を形成する				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第3巻基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	動物看護の基本となる概念 1	動物看護の目的、概念		
	2	動物看護の基本となる概念 2	獣医療と動物看護の歴史		
	3	動物看護の基本となる概念 3	獣医療倫理、動物看護者の倫理綱領		
	4	動物看護の基本となる概念 4	動物にとっての健康、福祉、QOL		
	5	動物看護の基本となる概念 5	動物病院における愛玩動物看護師の役割		
	6	動物看護の提供体制 1	社会における動物病院の役割		
	7	動物看護の提供体制 2	一次診療と二次診療、救急獣医療の役割と連携		
	8	動物看護の提供体制 3	インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、守秘義務		
	9	動物看護の提供体制 4	診療録(カルテ)と動物看護記録の作成、保存義務		
	10	動物看護の提供体制 5	職場における労働安全衛生、危険の防止・対処法		
	11	愛玩動物看護師の社会的立場 1	愛玩動物看護師の職能団体		
	12	愛玩動物看護師の社会的立場 2	愛玩動物看護師の資格制度と業務範囲、資格認定機関		
	13	愛玩動物看護師の社会的立場 3	愛玩動物看護師に関するその他の代表的な組織・団体		
	14	愛玩動物看護師の社会的立場 4	国際的な動物看護師の業務や資格制度の違い		
15	総括	まとめ			

科目名	動物臨床看護学各論 I	担当講師 (実務経験)	伊藤 航・八百坂 紀子 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	2年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	様々な疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状および必要な処置、治療に関する基本的な知識を学び各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法について理解する。				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学(緑書房)				
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	徴候や疾患の理解と対処 1	代表的な徴候や病態、疾患 徴候の評価と記録法		
	2	徴候や疾患の理解と対処 2	痛みの評価 徴候・疾患に基づいた援助		
	3	代表的な徴候 1	全身徴候(食欲不振・廃絶・元気喪失、発熱、疼痛、削瘦)		
	4	代表的な徴候 2	特異的徴候、特異的病態		
	5	代表的な疾患 1	循環器疾患 ①		
	6	代表的な疾患 2	循環器疾患 ②		
	7	代表的な疾患 3	循環器疾患 ③		
	8	代表的な疾患 4	循環器疾患 ④		
	9	代表的な疾患 5	呼吸器疾患 ①		
	10	代表的な疾患 6	呼吸器疾患 ②		
	11	代表的な疾患 7	呼吸器疾患 ③		
	12	代表的な疾患 8	呼吸器疾患 ④		
	13	代表的な疾患 9	消化器・栄養代謝性疾患 ①		
	14	代表的な疾患 10	消化器・栄養代謝性疾患 ②		
15	代表的な疾患 11	消化器・栄養代謝性疾患 ③			



	講義テーマ	講義内容
授業進行	16 代表的な疾患 12	消化器・栄養代謝性疾患 ④
	17 代表的な疾患 13	泌尿器疾患 ①
	18 代表的な疾患 14	泌尿器疾患 ②
	19 代表的な疾患 15	泌尿器疾患 ③
	20 代表的な疾患 16	泌尿器疾患 ④
	21 代表的な疾患 17	内分泌疾患 ①
	22 代表的な疾患 18	内分泌疾患 ②
	23 代表的な疾患 19	内分泌疾患 ③
	24 代表的な疾患 20	内分泌疾患 ④
	25 中獣医学 1	中獣医学概論
	26 中獣医学 2	基礎理論概論
	27 中獣医学 3	基礎理論概論
	28 中獣医学 4	中獣医学の診断・治療について
	29 中獣医学 5	中獣医学の診断・治療について
	30 中獣医学 6	お灸について・実技体験

科目名	生命倫理・動物福祉		担当講師 (実務経験)	池田 麻美 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)後期(—)	時間(単位)	30(2)	
概要	生命倫理の意義、動物福祉の基本概念を学び専門職としての理解を深める。					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品	20%				
	授業態度					
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ		講義内容		
	1	動物福祉とは		人と動物の関係		
	2	生命倫理の概念 1		生命倫理の考え方		
	3	生命倫理の概念 2		生命倫理と獣医療の関わり		
	4	生命倫理の概念 3		西欧と日本における動物観の違い		
	5	動物福祉の概念 1		動物福祉の考え方・「5つの自由」		
	6	動物福祉の概念 2		世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動		
	7	愛玩動物の福祉 1		愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題		
	8	愛玩動物の福祉 2		国内外の動物保護活動の現状と課題		
	9	愛玩動物の福祉 3		飼養放棄や殺処分問題、動物のみだりな殺傷・虐待(積極的な虐待とネグレクト)の現状、対策		
	10	産業動物の福祉 1		産業動物における福祉上の問題		
	11	産業動物の福祉 2		国際的な福祉基準		
	12	実験動物の福祉 1		実験動物における福祉上の問題		
	13	実験動物の福祉 2		3Rの概念と具体的方法		
	14	展示動物の福祉 1		展示動物における福祉上の問題		
15	展示動物の福祉 2		環境エンリッチメント			

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年 ( ■前期・■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(15)	時間(単位)	60(4)	
概要	様々な疾患の病態生理を理解しそれによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学び、各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか評価と介入の方法について理解する。					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学(緑書房)					
評価方法 評価基準	評価方法		評価割合(%)			
	定期試験		60%			
	小テスト・技術力・作品		20%			
	授業態度					
	レポート		%			
	出席状況		20%			
授業進行	前期	講義テーマ		講義内容		
	1	代表的な疾患 1		生殖器疾患 ①		
	2	代表的な疾患 2		生殖器疾患 ②		
	3	代表的な疾患 3		生殖器疾患 ③		
	4	代表的な疾患 4		生殖器疾患 ④		
	5	代表的な疾患 5		整形外科疾患 ①		
	6	代表的な疾患 6		整形外科疾患 ②		
	7	代表的な疾患 7		整形外科疾患 ③		
	8	代表的な疾患 8		整形外科疾患 ④		
	9	代表的な疾患 9		皮膚疾患 ①		
	10	代表的な疾患 10		皮膚疾患 ②		
	11	代表的な疾患 11		皮膚疾患 ③		
	12	代表的な疾患 12		皮膚疾患 ④		
	13	代表的な疾患 13		皮膚疾患 ⑤		
	14	代表的な疾患 14		神経疾患 ①		
	15	代表的な疾患 15		神経疾患 ②		

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ		担当講師	伊藤 航
授業進行	後期	講義テーマ	講義内容	
	16	代表的な疾患 16	神経疾患 ③	
	17	代表的な疾患 17	神経疾患 ④	
	18	代表的な疾患 18	眼疾患 ①	
	19	代表的な疾患 19	眼疾患 ②	
	20	代表的な疾患 20	眼疾患 ③	
	21	代表的な疾患 21	眼疾患 ④	
	22	代表的な疾患 22	造血器・免疫介在性疾患 ①	
	23	代表的な疾患 23	造血器・免疫介在性疾患 ②	
	24	代表的な疾患 24	造血器・免疫介在性疾患 ③	
	25	代表的な疾患 25	造血器・免疫介在性疾患 ④	
	26	代表的な疾患 26	緊急疾患 ①	
	27	代表的な疾患 27	緊急疾患 ②	
	28	胆がん動物の看護 1	がんの診断のための検査と治療の手順 腫瘍随伴症候群	
	29	胆がん動物の看護 2	がんの治療を受けている動物の看護援助 胆がん動物の治療と化学療法副作用	
30	総括	まとめ		

科目名	動物看護関連法規 動物愛護・適正飼養関連法規		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	動物愛護に関連する基本的な法規、動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規学び、社会における愛玩動物看護師の役割を知り人と動物の共生のあり方等を学ぶ					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行	前期	講義テーマ	講義内容			
	1	法学総論	法の体系 獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わり			
	2	愛玩動物看護師法	愛玩動物看護師法の目的・定義等			
	3	獣医療関連行政法規	獣医師法、獣医療法			
	4	公衆衛生行政法規 1	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	5	公衆衛生行政法規 2	狂犬病予防法			
	6	薬事行政法規 1	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			
	7	薬事行政法規 2	麻薬及び向精神薬取締法 毒物及び劇物取締法			
	8	愛護・適正飼養の基本となる概念	愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わり			
	9	愛護・適正飼養関連行政法規	動物の愛護及び管理に関する法律 愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律			
	10	社会福祉行政・環境衛生法規 1	身体障害者補助犬法			
	11	社会福祉行政・環境衛生法規 2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 化製場等に関する法律			
	12	野生動物等に関する法律及び条約 1	生物多様性 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律			
	13	野生動物等に関する法律及び条約 2	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 絶滅のおそれのある野生動植物種の種の保存に関する法律			
	14	野生動物等に関する法律及び条約 3	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約			
15	野生動物等に関する法律及び条約 4	自然公園法における野生動植物保護に関する制度 文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度				

科目名	動物生活環境学	担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	3年 ( ■前期 ・ □後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)	後期(-)	時間(単位) 30(2)
概要	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 .....	20%			
	授業態度				
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	飼養環境整備 1	動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法		
	2	飼養環境整備 2	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法		
	3	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 1	ペットツーリズムの現状と実施方法		
	4	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 2	ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法		
	5	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 3	ドッグランの環境整備・管理の方法		
	6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン 4	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興		
	7	保護収容施設 1	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディスン		
	8	保護収容施設 2	動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動		
	9	ペットへの教育・訓練施設	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等		
	10	動物介在教育施設	学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法		
	11	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 1	飼育マナーの必要性や目的		
	12	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 2	飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違い		
	13	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 3	地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例		
	14	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 4	愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナー		
15	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応 5	ペット保険の仕組みと実態			

科目名	ペット関連産業概論		担当講師 (実務経験)	伊藤 航 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年 ( <input type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(-) 後期(15)	時間(単位)	30(2)	
概要	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ					
テキスト等						
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%				
	レポート	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	ペット関連産業における職業倫理 1	責任と社会的役割			
	2	ペット関連産業における職業倫理 2	商取引における関連法規			
	3	ペット関連産業における職業倫理 3	動物愛護管理法にもとづく事前説明			
	4	ペットの飼養実態と市場規模 1	ペットの飼育実態			
	5	ペットの飼養実態と市場規模 2	ペット関連産業の概要と市場規模			
	6	ペットの飼養実態と市場規模 3	ペット関連産業全体の市場規模			
	7	各ペット関連産業の現状と課題 1	ペット産業の分類			
	8	各ペット関連産業の現状と課題 2	動物病院の現状			
	9	各ペット関連産業の現状と課題 3	動物病院以外のサービス業の現状			
	10	各ペット関連産業の現状と課題 4	生体販売業の現状			
	11	各ペット関連産業の現状と課題 5	ペットショップの現状			
	12	各ペット関連産業の現状と課題 6	その他ペット産業の現状			
	13	動物取扱業 1	動物取扱業制度の概要			
	14	動物取扱業 2	動物取扱責任者として業務実施するために必要な実践的知識			
15	動物取扱業 3	動物取扱責任者として必要な実践的知識と動物の取扱方法や衛生管理に関わる手法				

科目名	トリミング学 I		担当講師 (実務経験)	長崎 幸恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)	
概要	トリミングの目的や必要性を理解する					
テキスト等	トリミングテキスト I・トリミング器具					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)				
	定期試験	60%				
	小テスト・技術力・作品 レポート	20%				
	授業態度	%				
	出席状況	20%				
授業進行		講義テーマ	講義内容			
	1	グルーミングとは	グルーミングの意義・目的・心構え			
	2	実習器具の説明	実習器具の名称・種類・形・使用目的			
	3	実習器具の保管・消毒法	実習器具の正しい手入れ、保管、消毒法			
	4	トリミング実習時の身だしなみ	身だしなみのチェックポイント			
	5	トリミング実習の流れ	トリミング実習の流れ、注意事項			
	6	掃除・消毒	トリミング実習における衛生管理			
	7	トリミング用語	トリミングにおける専門用語を知る			
	8	グルーミングの手順	グルーミング実習における基本事項			
	9	応急処置	応急処置の意義			
	10	犬の体の基礎知識 1	犬体名称			
	11	犬の心理・感覚	犬の行動を理解する			
	12	犬の歯	犬の口腔内、お手入れについて			
	13	犬の皮膚・被毛	皮膚・被毛の構造と生理			
	14	犬の体の基礎知識 2	犬の毛色・狼指・狼爪・断耳・断尾			
15	犬種の特徴	代表的な犬種の出産地・被毛の特徴・毛色・性格を理解する				



科目名	人と動物の関係学	担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有■ 無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	1年 ( □前期 ・ ■後期 )		
授業形態	■講義 □実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(一) 後期(15)	時間(単位)	30(2)
概要	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理学的及び社会学的側面から、その実態、課題等を含めて理解する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 ..... 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	人間と動物の関わり	動物の飼養・利用の歴史		
	2	人間と動物の関わり	欧米と日本の動物観、動物との関わりとの相違		
	3	人間と動物の関わり	動物の飼養と利用の現状		
	4	人間の福祉と愛玩動物の関わり	動物虐待と対人暴力の連動性に関する基礎知識		
	5	人間の福祉と愛玩動物の関わり	多頭飼育崩壊(アニマル・ホーディング)		
	6	人間の福祉と愛玩動物の関わり	愛玩動物が子供や高齢者に与える恩恵及び人間の加齢に伴って飼養困難になる様々な事情		
	7	動物介在療法の活動と記録の活用	動物介在療法の活動と記録の活用		
	8	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響		
	9	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育の目的と内容		
	10	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育に使用される動物の公衆衛生学的適正、行動学的適正		
	11	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	犬種選定、衛生管理と使用目的に沿った訓練、活動中の制御、事故防止		
	12	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり(事例)		
	13	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり(事例)		
	14	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育への関わり(事例)		
15	動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育	学校飼育動物の目的や実態への関わり			

科目名	動物行動学 I (犬学)	担当講師 (実務経験)	名取 裕憲 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	1年 ( <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 )		
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15) 後期(-)	時間(単位)	30(2)
概要	犬の種としての行動様式の特徴を学び、問題行動の原因と対処、予防法を理解する				
テキスト等					
評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)			
	定期試験	60%			
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%			
	レポート	%			
	出席状況	20%			
授業進行		講義テーマ	講義内容		
	1	動物行動学の基礎 1	動物行動学の4つの問い(適応・進化・機構・発達・行動の進化と適応、家畜化)		
	2	動物行動学の基礎 2	生得的行動と学習行動・脳による行動制御		
	3	個体維持行動 1	摂食及び飲水行動・排泄行動		
	4	個体維持行動 2	身づくろい行動・護身行動		
	5	発達過程と社会行動 1	発達ステージ(新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期)と 各時期の行動学的特徴・生殖活動(性行動・母性行動)		
	6	発達過程と社会行動 2	コミュニケーション行動・敵対行動と親和的行動		
	7	学習理論 1	行動形成・馴化と感作		
	8	学習理論 2	古典的条件づけとオペラント条件づけ・学習に影響を与える因子		
	9	学習理論 3	基本的なトレーニング法 (トイレトレーニング、クレートトレーニング、甘噛み対策など)		
	10	問題行動 1	問題行動の定義と要因(遺伝的要因、生得的要因、環境要因)		
	11	問題行動 2	攻撃行動の種類、原因(動機づけ)と治療法		
	12	問題行動 3	恐怖・不安に起因する問題行動の原因と治療法		
	13	問題行動 4	不適切な排泄行動の原因(動機づけ)と治療法		
	14	問題行動 5	高齢性認知機能不全の原因と臨床徴候、対応		
15	行動治療	行動診療の進め方・行動修正法と環境修正法の種類と適応 行動治療における薬物療法			